

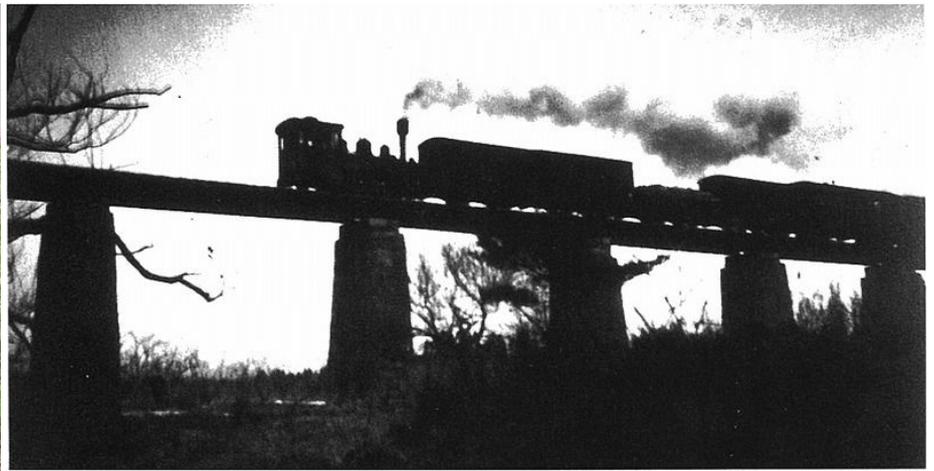
岩手軽便鉄道「瀬川陸橋跡」

瀬川に架かる岩手軽便鉄道の鉄橋を紹介する『山地の稜』

銀河鉄道を彷彿させる当時の岩手軽便鉄道の有名な写真。その写真は、岩手軽便鉄道が「瀬川陸橋」を渡るときの写真です。瀬川陸橋は鳥谷ヶ崎神社の裏手を走る岩手軽便鉄道が、花巻城の堀の役目をしていった「瀬川：現在は川そのものが北側に切り替えになって面影はない」を越えるための橋で、高台にあるお城一気に小舟渡方面に降りていく陸橋でした。賢治は、この陸橋の整備風景を舞台に『山地の稜』の作品を残しています。



瀬川陸橋跡の石標



瀬川陸橋を渡る岩手軽便鉄道車両

